

# 皆さまの温かいご支援を 必要としています！

「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント」は、被災者にとって未来への希望の象徴となるはず…私たちはそう確信しています。

しかし、官民ともに被災による厳しい運営を強いられながら、生活基盤を取り戻そうとインフラ事業に手を尽くしている現状において、広く皆さまからの“愛のある寄付”に頼らずしてプロジェクトの遂行は困難と言わざるを得ません。

市民・県民、全国民のみなさま、国内はもとより海外の企業・団体さまに本プロジェクトの詳細をお知らせし、参画を呼びかけて参りたい所存です。

どうぞ本プロジェクトの主旨にご賛同頂き、ご支援頂けますようお願い申し上げます。

【ご寄付について】100円からご寄付頂けます。

## ■振込口座

七十七銀行 本店営業部 普通口座 8012008  
モニュメント建立プロジェクト(モニュメントコンリュウ  
プロジェクト) 実行委員長 峯岸良慥  
※お手数ですが、お振込み手数料はご負担願います。

## ■お申込み・お問い合わせ

東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント  
建立プロジェクト 事務局  
住所：〒984-0801 宮城県仙台市若林区畠屋丁25-1  
電話：022-721-4311(受付時間10:00～17:00まで)  
FAX：022-211-4437  
Eメール：3.11.monument@gmail.com

※当団体へのご寄付は「一般寄付金」扱いとなります。  
※支援金は当団体が責任をもって「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント建立プロジェクト」に充てさせて頂きます。

未来の笑顔のために  
ぜひご賛同、ご支援頂けますよう  
お願い申し上げます。



# 東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント 建立プロジェクト

——ご支援・ご協力のお願い——



東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント  
建立プロジェクト

# 未来への希望の象徴としての モニュメントを

東日本大震災から早2年が過ぎようとしています。未曾有の大災害に襲われた被災地では、様々な課題と問題を内包しながらも国を挙げての復旧、そして復興へと大きな力が注がれ続けていると日々、実感しております。

しかし、復興庁の発表によれば全国の避難者等の数は約32万1千人、宮城県では11万2千人あまりの方が未だに仮設住宅などでの生活を余儀なくされ、福島の原発事故によって県外での避難生活を強いられている方も数多くおられます。

そうした現実の中、官民が協力しながら被災者の生活基盤を取り戻そうとインフラ事業に手を尽くしているわけです。

今、私たちが取り組もうとしているのは、人々の「こころ」と「暮らし」に焦点をあてた「鎮魂と追悼のモニュメント」の建立です。

喪った近親者への「鎮魂と追悼」の拠り所として、また、すべての人が訪れて手を合わせ祈りを捧げ、哀悼の思いを積み上げていく場所として、「鎮魂と追悼のモニュメント」を建立することは、災害の風化を防ぎ、未来へ向かっていくための希望の象徴となり得ることと確信しております。



## 「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント」 建立プロジェクト企画の背景

### 「追悼の気持ちを表す場所」の必要性

行方不明者のご家族など、祈りの拠り所を持たない被災者や、被災地を訪れる直接被災者でない人々が、追悼の気持ちを表し、献花する場所が必要です。

### 「震災の記憶の伝承」の必要性

震災の記憶を薄れさせずに、後世に伝えていくためには伝達装置となるものが必要です。

### 「未来へ向かう希望の象徴」の必要性

震災から立ち直り、未来へ向かっていくための人々の希望の象徴となるようなモニュメントが必要です。

人々が追悼の気持ちを表すために集まる場所となり、震災の記憶を後世に伝え、未来へ向かう希望の象徴となる「モニュメント」が必要です。

## 「東日本大震災 鎮魂と追悼のモニュメント」 製作と完成後の展開

モニュメントの製作は、「ニューヨーク9.11プロジェクト」の慰霊モニュメント製作を手がけるなど数々の実績を持ち、宮城県出身で「みやぎ絆大使」でもある世界的な彫刻家の武藤順九氏に依頼します。

完成後は宮城県庁のエントランスなどに一時的に設置し(予定)、将来的に震災の資料館や慰霊公園、メモリアルパークなどが建設された場合には、宮城県や石巻市などの行政機関へと管理を委譲できるような前提で運営を行っていきたいと考えております。



武藤 順九  
(むとう ゆんきゅう)  
彫刻家・画家



「CIRCLE WIND 2011」  
《東日本大震災3.11慰霊モニュメント1/4ファーストイメージモデル》  
2011年制作 / H.64×W.80×S.26 / イタリア大理石



## 「CIRCLE WIND 2011」

《東日本大震災3.11慰靈モニュメント1/4ファーストイメージモデル》  
2011年制作 / H.64×L.80×S.26 / イタリア大理石

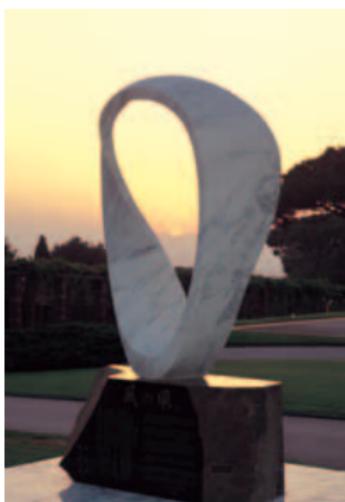
武藤 順九(むとう じゅんきゅう)

彫刻家・画家



- 2011年 「風の環ニューヨーク9.11慰靈モニュメント」披露式典及び展示会開催  
(財)ジャパンソサエティ(於) 9月7日～16日 アメリカ/ニューヨーク
- 2009年 国際天文学連合(IAU)により小惑星6098に対して、  
武藤順九にちなんで Mutojunkyuと命名
- 2008年 風の環・PAX2008「聖なる煙」アメリカ/ワイオミング州デビルズタワー永久設置
- 2007年 東北の玄関・仙台空港駅に彫刻作品「飛翔」設置
- 2006年 風の環・PAX2005 インド/ブッダガヤ・マハボディ寺院(世界遺産)永久設置
- 2003年 風の環・PAX2003 イタリア/ピエトラサンタ設置
- 2002年 「シリーズ『記憶の壁』PAX2001－光の誕生－」国際ユネスコ本部(パリ)設置
- 2001年 風の環・PAX2001 日本/仙台・仙台国際センター設置
- 2000年 風の環・PAX2000 バチカン宮殿(カステルガンドルフォ/ローマ法王公邸)に  
歴史上初の抽象彫刻永久設置
- 1997年 イタリア/ピエトラサンタ・ヴェルシリア賞グランプリ受賞<彫刻・絵画>  
同受賞展・PAX2000 世界巡回展開始(イタリア)
- 1978年 ローマ国際アーティスト展銀賞受賞
- 1976年 ローマ国際オスカー出品、絵画の部オスカー受賞
- 1975年 ローマにアトリエを構え、その後現在にいたるまでローマにて創作活動
- 1974年 スペイン滞在
- 1973年 東京芸術大学美術学部卒業後、渡仏
- 1950年 仙台に生まれる

# JUNKYU MUTO'S WORKS SERIES “CIRCLE WIND”



PAX2000  
カステル・ガンドルフォ/  
バチカン

Muto



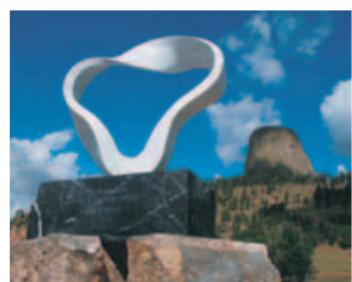
PAX2001  
仙台/日本



PAX2005  
ブッダガヤ/インド



PAX2003  
ピエトラサンタ/イタリア



PAX2008  
ワイオミング/アメリカ



PAX2011  
ニューヨーク/アメリカ